

1、博物館名称 アシックススポーツミュージアム

2、所在地

〒650-8555 神戸市中央区港島中町7丁目1番1

開館時間 10:00~17:00

休館日 毎週日曜日、月曜日、祝日、夏季休暇、年末年始休暇

3、HP <http://www.asics.co.jp/corp/museum>

4、主たる収蔵品・収蔵資料解説

- ・さまざまなアスリートが実際に履いていたシューズ
例、イチローのスパイク、長谷川穂積のシューズ、高橋直子のランニングシューズ等
- ・アシックスの創業から現在までを、史実とその時代を象徴する商品で紹介
- ・イチローのサイン入りポスター
- ・LEDライトシステムを利用したスピード体感アトラクション
例、ボルトの100m走の世界記録、160^{キロ}のスピードボール
- ・野口さんが宇宙で履いていたシューズ
- ・野球やテニス、スキー、ゴルフ用具
- ・レスリングのオフィシャルのユニホーム

5、調査者コメント

今回はアシックスの本社ビルに隣接するアシックススポーツミュージアムを訪問した。アシックスと言えば何といてもシューズである。やはり展示品の数でもシューズは群を抜いていた。野球や陸上はもちろん、ボクシングの長谷川穂積選手や宇宙飛行士の野口さんのシューズも展示されてあった。個人的にはイチロー選手の歴代のスパイクの展示に興味を惹かれた。1年ごとにモデルを変え、WBC専用のスパイクも作っていたようだ。2010年のモデルのみ実際手で触れることができたのだが、思っていたものよりはるかに軽いことに驚きを感じた。

またトップアスリートの凄さを体感できるものもあった。具体的には三段跳びの世界記録の歩幅、ボルトの100m走世界記録の速さ、そして160^{キロ}のスピードボールである。これらを体感した感想としては、トップアスリートはわれわれとは違う次元の存在であるということ。ただただ彼らの凄さに圧倒されていた。

全体的に観覧者を飽きさせない工夫が感じられた。ただ単に展示品を眺めるだけのミュージアムではない。またスタッフがいつも近くにいる気軽に質問できるような体制もとられていた。入館料も無料なので何かの用事でポートアイランドに来たときには、足を運んでみるのもよいのではないかな。

6、調査者氏名 福田孝宗 木原浩 坂本悠樹

7、調査日 2010年11月30日(火)



イチロー選手の2010年モデルのスパイク



入口付近に置いてあったグローブ型のソファ